

平成 28 年度に千葉大学へ入学される皆様および保護者の皆様へ

平成 28 年 3 月

千葉大学総合安全衛生管理機構

麻しん風しん予防接種に関するお願い

2007 年に、10 ～20 歳代を中心として麻しんが流行し、休校措置をとった大学が多くありました。また、2013 年には、20～40 歳代を中心とした風しんの流行があり先天性風疹症候群が問題になりました。これらの流行は、過去の予防接種制度で得た免疫が時間の経過とともに弱くなり、追加の予防接種を受ける機会がなかった年代を中心におこったものです。

そういった反省に基づき、2008～2012 年の時限措置で、中学 1 年生・高校 3 年生に相当する年齢の方を対象に麻しん風しんワクチン（MR ワクチン）の定期接種が行われました。しかし、その接種率は 85% 程度（2008 年度第 3 期定期接種）で流行予防の目標とされる 95%には届いていません。

大学に入学するにあたって、麻しん風しんワクチンの追加接種（乳幼児期も含めて 2 回目の接種）が済みでない学生さんは、入学前に追加接種（任意接種）を受けておくことを是非お勧めします。

追加接種は、1) 大学内での感染症拡大とそれに伴う学業への影響を最小限にする。2) 各種実習で予防接種証明の提出を必須とする場合がある。3) 海外留学の際に、受け入れ先から予防接種証明の提出を求められる。などという状況に対応する目的もあります。

これらの事情から、入学後の授業等をスムーズに受講していただくため、平成 28 年度入学手続き書類には、麻しん・風しん・水痘・流行性耳下腺炎の予防接種状況を確認するアンケートが入っています（水痘・流行性耳下腺炎は任意接種です）。また、一部の学部では、入学後抗体検査を実施し、抗体陰性もしくは低値の学生さんには予防接種を推奨しています。

なお、アレルギーがある・持病があって接種できないという方は、接種の可否をかかりつけ医に相談してください。

- ① 母子健康手帳・予防接種証明などを参考にして、麻しん・風しん・三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）・BCG・ポリオなどの定期接種が完了していることを確認しましょう。B 型肝炎・水痘・流行性耳下腺炎など任意接種を行った記録があれば、そちらも確認しましょう。
- ② 予防接種記録（母子健康手帳の記録を含む）は大事に保管し、その複写などを学生本人が管理できるようにしましょう。

【この件に関するお問い合わせ先】

千葉大学総合安全衛生管理機構ナース室

電話 043-290-2214 E-mail: info-hsc@office.chiba-u.jp